

◆特定共同研究(A)(研究期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画等のプロジェクトへの、全国の研究者の参加支援)

No.	課題番号	付表の番号	研究代表者名	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2021-A-01 (ERI_02)	-	安田 敦	-	東京大学 地震研究所	企画部	マグマ溜まりの時間発展と噴火様式との関連性	報告書
2	2021-A-01 (ERI_12)	-	蔵下 英司	-	東京大学 地震研究所	企画部	スロー地震モニタリングに基づく南海トラフ域の地震発生可能性評価手法に関する研究	報告書
3	2021-A-02	-	田中 聡	-	海洋研究開発機構・海域地震火山部門	清水 久芳	地球深部の構造とダイナミクス	報告書
4	2021-A-03	-	中東 和夫	-	東京海洋大学・学術研究院	篠原 雅尚	北部沖縄トラフの上部マントル構造	報告書
5	2021-A-04	A	平田 直	椎名 高裕	産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	長尾 大道	「次世代地震計測と最先端ベイズ統計学との融合によるインテリジェント地震波動解析」 多種多様な地震計測データ利用法とその検証	報告書
6	2021-A-04	B	平田 直	森川 耕輔	大阪大学・大学院基礎工学研究科	長尾 大道	「次世代地震計測と最先端ベイズ統計学との融合によるインテリジェント地震波動解析」 最先端ベイズ統計学に基づく地震波動解析アルゴリズムの構築	報告書
7	2021-A-04	C	平田 直	加納 将行	東北大学・大学院理学研究科	長尾 大道	「次世代地震計測と最先端ベイズ統計学との融合によるインテリジェント地震波動解析」 インテリジェント地震波動解析：実データ応用実験とデータ同化法開発	報告書

継続実施課題

No.	課題番号	付表の番号	研究代表者名	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2020-A-01	ERI_02	安田 敦		東京大学・地震研究所	安田 敦	マグマ溜まりの時間発展と噴火様式との関連性	報告書
2	2020-A-01	KGSM01	八木原 寛		鹿児島大学・南西島弧地震火山観測所	企画部	南西諸島北部域におけるプレート間すべりの特性に関する地震・地殻変動観測研究	報告書

No.	課題番号	付表の 番号	研究 代表者名	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
3	2020-A-03	A0201	小原 一成	廣瀬 仁	神戸大学・都市安全研究センター	小原 一成	「スロー地震学」GNSSによる西南日本のスロースリップイベントに伴う地殻変動の観測（豊後水道周辺等）	報告書
4	2020-A-03	A0204	小原 一成	田部井 隆雄	高知大学・教育研究部自然科学系理工学部門	小原 一成	「スロー地震学」GNSSによる西南日本のスロースリップイベントに伴う地殻変動の観測(四国等)	報告書
5	2020-A-03	A0206	小原 一成	田中 愛幸	東京大学・理学系研究科	小原 一成	「スロー地震学」スロースリップイベントに関連した地殻流体移動の検出	報告書
6	2020-A-04		中東 和夫		東京海洋大学・学術研究院	篠原 雅尚	北部沖縄トラフの上部マントル構造	報告書
7	2020-A-05	A	平田 直	椎名 高裕	産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	長尾 大道	「次世代地震計測と最先端ベイズ統計学との融合によるインテリジェント地震波動解析」 多種多様な地震計測データ利用法とその検証	報告書
8	2020-A-05	B	平田 直	森川 耕輔	大阪大学・大学院基礎工学研究科	長尾 大道	「次世代地震計測と最先端ベイズ統計学との融合によるインテリジェント地震波動解析」 最先端ベイズ統計学に基づく地震波動解析アルゴリズムの構築	
9	2020-A-05	C	平田 直	加納 将行	東北大学・大学院理学研究科	長尾 大道	「次世代地震計測と最先端ベイズ統計学との融合によるインテリジェント地震波動解析」 インテリジェント地震波動解析：実データ応用実験とデータ同化法開発	

※2020年度採択課題に限る特例措置として、新型コロナウイルス感染症による影響に伴い、研究の遂行に支障が出た課題について、2021年度への繰越・継続実施をお認めしています。

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

◆特定共同研究(B)(研究期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(全国的な規模のグループが実施する、地震予知・噴火予知計画等の事業費に基づかないプロジェクトで将来事業化を目指す計画)

No.	課題番号	新規 継続 最終 年度	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2019-B-01	最終 年度	下山 勲	富山県立大学	市原 美恵	MEMS空振センサを用いた火山観測	報告書
2	2019-B-04	最終 年度	加納 将行	東北大学・大学 院理学研究科	福田 淳一	固体地球現象の理解と予測に向けたデータ 同化法の開発	報告書
3	2019-B-05	最終 年度	三浦 哲	東北大学・大学 院理学研究科	今西 祐一	重力・測地観測技術の高度化に基づく地殻 の流体移動及び非弾性応答の研究	報告書
4	2019-B-08	最終 年度	塩原 肇	東京大学・地震 研究所	塩原 肇	可搬型実用絶対重力計測への量子センシン グ技術の基盤研究	報告書
5	2020-B-01	継続	平賀 岳彦	東京大学・地震 研究所	平賀 岳彦	地殻・マントル物性を明らかにするための 実験基準試料の合成とその配布	報告書
6	2020-B-03	継続	太田 雄策	東北大学・大学 院理学研究科	青木 陽介	超稠密GNSS観測による地殻変動研究の新 展開	報告書
7	2020-B-06	継続	井上 邦雄	東北大学・ ニュートリノ科 学研究センター	田中 宏幸	マントル地球ニュートリノ検出を目指した 海洋底ニュートリノ検出器による地球深部 理解	報告書
8	2021-B-01	新規	上木 賢太	海洋研究開発機 構・海域地震火 山部門	長尾 大道	機械学習で推し進めるデータ駆動型地球科 学の新展開	報告書
9	2021-B-02	新規	山田 昌樹	信州大学・理学 部	佐竹 健治	地質記録と数値シミュレーションに基づく 南海トラフ～琉球海溝の長期間の津波発生 履歴と巨大地震破壊域の解明	報告書
10	2021-B-03	新規	奥山 哲	気象庁・気象研 究所	青木 陽介	高頻度SAR観測による地殻・地表変動研究	報告書

継続実施課題

No.	課題番号	新規 継続 最終 年度	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2018-B-01	—	吉田 健太	海洋研究開発機構	長尾 大道	データ駆動型解析で推し進める変動帯ダイナミクス研究の深化	報告書
2	2018-B-04	—	山本 真行	高知工科大学・システム工学群	今西 祐一	国内インフラサウンド稠密観測網の確立	報告書
3	2019-B-04	—	加納 将行	東北大学・大学院理学研究科	福田 淳一	固体地球現象の理解と予測に向けたデータ同化法の開発	—
4	2019-B-05	—	三浦 哲	東北大学・大学院理学研究科	今西 祐一	重力・測地観測技術の高度化に基づく地殻の流体移動及び ひ 非弾性応答の研究	—
5	2020-B-03	—	太田 雄策	東北大学・大学院理学研究科	青木 陽介	超稠密GNSS観測による地殻変動研究の新展開	—
6	2020-B-07	—	芝崎 文一郎	建築研究所・国際地震工学センター	岩森 光	プレートの沈み込みと島弧変動のダイナミクス	報告書

※2020年度採択課題に限る特例措置として、新型コロナウイルス感染症による影響に伴い、研究の遂行に支障が出た課題について、2021年度への繰越・継続実施をお認めしています。

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

◆特定共同研究(C)(研究期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(地震研究所が特別に認めた、共同利用経費以外の資金によって運営される共同研究プロジェクト)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2021-C-01	木村 尚紀	防災科学技術 研究所	酒井 慎一	首都圏地震観測網 (MeSO-net) を使った地震活動・プレート構造の研究	報告書

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

◆一般共同研究(研究期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2021-G-01	飯塚 毅	東京大学・大学院理学系研究科	竹内 希	物理学的な地球化学組成モデルの推定	報告書
2	2021-G-02	鈴木 岳人	青山学院大学理工学部物理・数理学科	亀 伸樹	Frenkel-Kontorovaモデルの量子的取り扱いに基づく最大静摩擦力の導出	報告書
3	2021-G-03	能勢 正仁	名古屋大学・宇宙地球環境研究所	上嶋 誠	MT観測における地球内部構造決定の精度向上に向けた外部起因電磁場擾乱の空間構造の調査	報告書
4	2021-G-04	鬼澤 真也	気象庁・気象研究所	今西 祐一 西山 竜一	伊豆大島火山マグマ活動の解明に向けた精密重力観測	報告書
5	2021-G-05	山口 哲生	東京大学・大学院農学生命科学研究科	楠 浩一	木質構造における接着・機械ハイブリッド接合の力学応答と最適化	報告書
6	2021-G-06	本多 亮	神奈川県温泉地学研究所	蔵下 英司	マルチアレイ観測による深部低周波地震の精密震源決定	報告書
7	2021-G-07	鶴 哲郎	東京海洋大学・海洋資源エネルギー学部門	望月 公廣	同時発振方式による三次元反射法地震探査における振源波形の最適化	報告書

継続実施課題

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2020-G-01	田阪 美樹	島根大学・総合理工学部	平賀 岳彦	かんらん岩を用いた2相系岩石の変形特性	報告書
2	2020-G-02	西澤 達治	東京工業大学・理学院	岩森 光	沈み込んだ海山が島弧火成活動に及ぼす影響の解明	報告書
3	2020-G-07	石橋 秀巳	静岡大学・理学部	安田 敦	富士山宝永噴火の斑レイ岩カタクレサイト捕獲岩の形成過程	報告書
4	2020-G-16	室谷 智子	国立科学博物館	佐竹 健治、 鶴岡 弘	歴史地震記象の利活用に向けたアナログ記録の数値化	報告書
5	2020-G-17	折橋 裕二	弘前大学・大学院理工学研究科	中井 俊一	海洋プレート内断裂帯（線状変質帯）が与える島弧火成作用の影響：南米チリ南部火山帯第四紀火山岩中ホウ素の挙動からの制約	報告書

※2020年度採択課題に限る特例措置として、新型コロナウイルス感染症による影響に伴い、研究の遂行に支障が出た課題について、2021年度への繰越・継続実施をお認めしています。

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

◆研究集会(研究期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	報告書
1	2021-W-01	加納 将行	東北大学・大学院理学研究科	小原 一成	スロー地震の発生様式・発生環境・発生原理に関する包括的理解：巨大地震との関連性の解明を目指して	報告書
2	2021-W-02	今村 文彦	東北大学・災害科学国際研究所	佐竹 健治	The 30th International Tsunami Symposium (ITS)	報告書
3	2021-W-03	溜淵 功史	気象庁・気象研究所	鶴岡 弘	固体地球科学的諸現象のリアルタイム監視予測システムと利活用	報告書
4	2021-W-04	鹿児島 涉悟	富山大学・学術研究部理学系	山野 誠	海溝海側の過程に関する横断的研究：沈み込み帯インプットの実態解明を目指して	報告書
5	2021-W-05	麻生 尚文	東京工業大学・理学院	大谷 真紀子	数値実験とデータ解析から探る地震活動の物理	報告書
6	2021-W-06	坂中 伸也	秋田大学・大学院国際資源学研究科	上嶋 誠	地球電磁気的手法への新技術の導入と統合解釈－極浅部から深部までの統合解釈を目指して－	報告書

継続実施課題

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	報告書
1	2020-W-01	竹内 希	東京大学・地震研究所	馬場 聖至 一瀬 建日	太平洋アレイワークショップ	報告書
2	2020-W-04	山田 昌樹	信州大学・理学部	佐竹 健治	2020年度津波堆積物研究会	報告書
3	2020-W-07	前田 拓人	弘前大学・大学院理工学研究科	小原 一成	地表・海底の振動記録から探る地震以外の諸現象	報告書
4	2020-W-09	門廻 充侍	東北大学・災害科学国際研究所	佐竹 健治	第10回巨大津波災害に関する合同研究集会	報告書
5	2020-W-10	野口 科子	地震予知総合研究振興会	古村 孝志	固体地球の多様な波動現象へのアプローチ：多量データ解析と大規模計算を両輪に	報告書

※2020年度採択課題に限る特例措置として、新型コロナウイルス感染症による影響に伴い、研究の遂行に支障が出た課題について、2021年度への繰越・継続実施をお認めしています。

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

◆地震・火山噴火の解明と予測に関する研究(研究期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画のうち、「1.地震・火山現象の解明のための研究」、「2.地震・火山噴火の予測のための研究」に関連する新規研究課題)

No.	課題番号	継続/ 新規	代表者名	所属機関	研究課題	報告書
1	2020-KOBO02	継続	石辺 岳男	公益財団法人地震予知総合研究振興会	有感地震記述ならびに震度の距離減衰式に基づく地震活動解析	報告書
2	2020-KOBO06	継続	佐藤 鋭一	北海道教育大学・旭川校	古地磁気学を用いた火山活動推移の検討とマグマ供給系の変遷モデルの構築	報告書
3	2020-KOBO07	継続	児玉 哲哉	宇宙航空研究開発機構・研究開発部門 第一研究ユニット	地震先行VLF帯電磁波強度減少研究のための超小型衛星のエンジニアリングモデル及びフライトモデルの製作	報告書
4	2020-KOBO09	継続	鴨川 仁	静岡県立大学・グローバル地域センター	地震先行VLF帯電磁波強度減少の多角的解析による評価と発生メカニズムの解明	報告書
5	2020-KOBO11	継続	大場 武	東海大学・理学部	水蒸気噴火が懸念される火山におけるマグマ起源流体の挙動解明と火山活動評価	報告書
6	2020-KOBO12	継続	齋藤 武士	信州大学・学術研究院 理学系	火山ガス観測による焼岳火山の活動評価とガス輸送システムの解明	報告書
7	2020-KOBO13	継続	鹿児島 涉悟	富山大学・学術研究部 理学系	北海道摩周周辺における火山活動の時間変化に関する地球化学的調査	報告書
8	2020-KOBO15	継続	伴 雅雄	山形大学・理学部	蔵王山、過去約800年間の活動の噴火推移の類型化	報告書
9	2020-KOBO17	継続	佐柳 敬造	東海大学・海洋研究所	富士山頂における全磁力通年観測	報告書
10	2021-KOBO19	新規	中東 和夫	東京海洋大学・学術研究院	東京海洋大学練習船での海底地殻変動観測	報告書
11	2021-KOBO20	新規	多田 訓子	海洋研究開発機構・海域地震火山部門	海底電磁気観測による伊豆大島火山マグマ供給系の解明	報告書
12	2021-KOBO21	新規	佐野 恭平	兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科	石基組織から読み解く北海道摩周火山の噴火推移過程	報告書

No.	課題番号	継続/ 新規	代表者名	所属機関	研究課題	報告書
13	2021-KOBO22	新規	知北 和久	北海道大学大学院理学 研究院	活火山火口湖の水・熱・化学物質収支の長期評価と 火山活動変動との関係について：蔵王山と御釜	報告書
14	2021-KOBO23	新規	望月 伸竜	熊本大学・大学院先端 科学研究部	阿蘇中岳火山灰の岩石磁氣的性質の時系列変化に関 する研究	報告書
15	2021-KOBO24	新規	地引 泰人	東北大学・大学院理学 研究科	有珠山を事例とした住民自治組織の火山防災の基礎 情報収集調査 －火山防災制度及び火山活動推移の理解度の解明－	報告書
16	2021-KOBO25	新規	横田 裕輔	東京大学・生産技術研 究所	GNSS-A海底測地観測データの高精度化に向けた精 度評価システムの構築	報告書

継続実施課題

No.	課題番号	継続/ 新規	代表者名	所属機関	研究課題	報告書
1	2020-KOBO06	—	佐藤 鋭一	北海道教育大学旭川校	火山活動推移に対応したマグマ供給系の変遷モデル の構築	—
2	2020-KOBO07	—	児玉 哲哉	宇宙航空研究開発機構	地震先行VLF帯電磁波強度減少研究のための超小型 衛星のエンジニアリングモデルの製作	—
3	2020-KOBO08	—	織原 義明	東京学芸大学・教育学 部	行政等が所有する宏観異常現象に関わるデータを用 いた地震発生の確率予測	報告書
4	2020-KOBO12	—	齋藤 武士	信州大学・学術研究院 理学系	火山ガス観測による焼岳火山の活動評価とガス輸送 システムの解明	—

※2020年度採択課題に限る特例措置として、新型コロナウイルス感染症による影響に伴い、研究の遂行に支障が出た課題について、2021年度への繰越・継続実施をお認めしています。

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

◆高エネルギー素粒子地球物理学公募研究(研究期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(高エネルギー素粒子地球物理学に関連する技術開発研究課題)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	担当教員	研究課題	報告書
1	2020-H-05	Dezső Varga	High Energy Physics Dept., Wigner Research Centre for Physics	継続	田中 宏幸	Muography imaging instrumentation for applications in geophysics and human infrastructure	報告書
2	2021-H-01	Marko Holma	Muon Solutions Oy, Finland	新規	田中 宏幸	Tor imaging project, upgrades to muon telescope and geoscience applications for muography	報告書
3	2021-H-02	松島 潤	東京大学・大学院新領域創成科学研究科	新規	田中 宏幸	海底浅層ガス層の潮汐レスポンスを対象としたミュオグラフィと弾性波探査との融合探査の可能性評価 (Joint exploration of muography and seismic exploration for tidal response of seafloor shallow gas)	報告書
4	2021-H-03	林 武文	関西大学・総合情報学部	新規	田中 宏幸	機械学習によるミュオグラフィ画像の高解像度化解析技術の開発と未発掘古墳の内部調査を対象とした技術検証	報告書
5	2021-H-04	金 政浩	九州大学・大学院総合理工学研究院	新規	田中 宏幸	宇宙線トモグラフィのための基礎データ取得	報告書

継続実施課題

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	担当教員	研究課題	報告書
1	2018-H-03	松島 潤	東京大学・新領域創成科学研究科	—	田中 宏幸	石油貯留層の密度分布モニタリングを目的としたミュオグラフィの性能評価 (多次元への拡張) と地震波探査データとのジョイントインバージョン手法構築	報告書
2	2020-H-01	Domenico Lo Presti	University of Catania, Department of Physics and Astronomy	—	田中 宏幸	Joint measurement of the internal structure of Sakurajima volcano by means of muography	報告書
3	2020-H-03	林 武文	関西大学・総合情報学部	—	田中 宏幸	古墳のミュオグラフィ計測における3次元可視化システムの開発	報告書

※2020年度採択課題に限る特例措置として、新型コロナウイルス感染症による影響に伴い、研究の遂行に支障が出た課題について、2021年度への繰越・継続実施をお認めしています。

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

◆大型計算機共同利用公募研究(研究期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(地震・火山・防災の関連分野の研究遂行に関わる大規模計算を行う研究課題)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	種別	担当教員	研究課題	報告書
1	2021-S-B101	額縁 一起	東京大学・地震研究所	B大型研究	額縁一起	波形インバージョンによる地下構造モデル構築	報告書
2	2021-S-B102	前田 拓人	弘前大学・大学院理工学研究科	B大型研究	武村 俊介	大規模地震動シミュレーションを活用した地震発生帯の構造解明と強震動即時予測	報告書
3	2021-S-B103	馬場 俊孝	徳島大学・大学院社会産業理工学研究部	B大型研究	佐竹 健治	大規模数値シミュレーションがもたらす津波推定・予測研究の革新	報告書
4	2021-S-B104	竹中 博士	岡山大学・大学院自然科学研究科	B大型研究	古村 孝志	大規模地震動シミュレーションに基づく南西諸島域の高精度震源解析	報告書
5	2021-S-C101	岩田 貴樹	県立広島大学・大学教育実践センター	C挑戦的研究	-	P波初動を用いた応力空間パターン推定手法の高度化	報告書
6	2021-S-C102	小屋口 剛博	東京大学・地震研究所	C挑戦的研究	-	火山噴煙ダイナミクスの大規模並列化数値モデルの開発研究	報告書
7	2021-S-C103	綿田 辰吾	東京大学・地震研究所	C挑戦的研究	-	重力項と重力摂動項を含む地震・津波計算コードの開発	報告書
8	2021-S-C104	金子 善宏	京都大学・理学研究科	C挑戦的研究	-	動的破壊モデルから考察する複雑な断層形状がもたらす条線への影響	報告書
9	2021-S-C105	武多 昭道	東京大学・地震研究所	C挑戦的研究	-	宇宙線伝播シミュレーション	報告書
10	2021-S-C106	宮崎 真一	京都大学・大学院理学研究科	C挑戦的研究	-	南海トラフ巨大地震のシミュレーションと豊後水道長期的スロースリップのデータ同化	報告書
11	2021-S-B201	浅井 光輝	九州大学・工学研究院 社会基盤部門	B大型研究	市村 強	高粘性非ニュートン流体の高並列GPU解析による地震時斜面崩壊被害予測	報告書
12	2021-S-B301	馬場 俊孝	徳島大学・大学院社会産業理工学研究部	B大型研究	佐竹 健治	複合災害を考慮した確率論的津波浸水評価	報告書

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。